

## 令和 7 年度 動物愛護相談センターにおける動物由来感染症調査結果

(令和 8 年 1 月 30 日現在)

## 1 犬と猫の寄生虫調査

- (1) 検体採取期間 令和 7 年 4 月から令和 8 年 1 月まで
- (2) 対象及び規模 ①犬 5 頭(延べ検体数 5)、猫 25 頭(延べ検体数 34)の糞便  
②犬 5 頭、猫 11 頭の心臓及び消化管
- (3) 方法 ①直接塗沫法及び飽和食塩水浮遊法による糞便中の虫卵の同定  
②解剖検査による心腔内及び消化管内における虫体確認と同定  
※動物愛護相談センターで虫卵及び虫体の同定が困難な場合は、健康安全研究センター微生物部病原細菌研究科寄生虫研究室に同定の協力を依頼する。

## (4) 結果

## ① 糞便検査 (虫卵)

対象 (延べ検体数)	陽性頭数	内 訳		
		回虫	イソス <sup>o</sup> ラ属	条虫(エキノコックス含む)
犬 5 頭 ( 5 検体)	0	0	0	0
猫 25 頭 (34 検体)	0	0	0	0

## ② 解剖検査 (虫体)

対象	陽性頭数	内 訳		
		回虫	イソス <sup>o</sup> ラ属	条虫(エキノコックス含む)
犬 5 頭	0	0	0	0
猫 11 頭	1	0	0	猫条虫 1

## 2 犬及び猫の SFTS(重症熱性血小板減少症候群)ウイルス遺伝子モニタリング調査

- (1) 検体採取期間 令和 7 年 4 月から令和 8 年 1 月まで
- (2) 対象及び規模 犬及び猫の口腔拭い液 犬 1 頭、猫 44 頭
- (3) 方法 リアルタイム PCR 法によるウイルス遺伝子の検出
- (4) 検査機関 健康安全研究センター微生物部ウイルス研究科
- (5) 結果 すべての検体で SFTS ウイルス遺伝子は検出されなかった。